

ふれあいのまち

小正市民センター地区まちづくり推進協議会

2024 8.1

小正コミュニティー

編集 新聞部会
事務局 小正市民センター
☎ 21-8000

No. 90

発行部数 9900部



ごあいさつ
小正市民センター地区
まちづくり推進協議会

会長 浅井 壯一郎

地域住民の皆様、並びに関係団体の皆様には、平素より小正市民センター地区まちづくり推進協議会が主催する各種事業に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

五月十一日の総会にて、令和六年度の小正市民センター地区まちづくり推進協議会会長に選出されました「浅井 壯一郎」でございます。この度、会長という大役を仰せつかり、責任の重さを感じております。さて、当推進協議会は、発足してから四十四年目に

入りました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で延期していた四十周年記念事業「ふれあいフェスタ」を開催し、多数の方にご参加いただき大盛況となりました。また、各部会では住民の皆様がこれからもこのまちに住みたいと思えるような事業を実施してまいりました。

今後とも地縁の再生のために、小正地区の特色を生かし、きめ細やかに対応した地域づくり・お互いに支え合うやさしい地域づくりによって、子育て世帯から高齢者世代までの交流の輪が広がり、さらに住み良いまちとなるための各種事業を実施してまいります。

小正地区の発展のために、各団体の皆様、役員一同力を合わせて魅力あるまちづくり事業を進めていきたいと考えております。何卒ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年度

役員・事業紹介

第50回全体会議を稲沢東小学校屋内運動場（体育館）にて開催いたしました。
承認・可決された今年度の役員及び、計画された事業についてご報告いたします。

会長	浅井 壯一郎
副会長	小崎 範夫
理事	東野 英樹
監事	佐藤 寛光
書記	佐藤 信夫
会計	牛嶋 みゆき
理事	大崎 多恵子
理事	竹市 政秋
理事	松本 たかあき

区長・各種団体代表者等44名

全体事業実行委員会

委員26名

◆ふれあいフェスタ

令和7年1月26日(日)

◆減災事業 (随時)

※防災情報の発信等

スポーツ青少年部会

部会員54名

部会長 丹羽 佐俊

◆秋まつり

10月13日(日)

稲沢東公民館・はなみずき館
ほか

◆ウォーキング大会

12月1日(日)

◆学校内清掃活動

(環境部会と合同実施)

稲沢東小学校

9月27日(金)

小正小学校

10月11日(金)

◆8・3運動(随時)

登校時(8時)・下校時(3時)に皆さんで児童を見守っていただく活動を実施。

環境部会

部会員46名

部会長 笹子 茂

副部会長 吉田 光信

◆交通安全活動

7月11日(木)午前7時30分

交通安全指導・啓発宣伝活動

◆地域安全に関する研修会

9月7日(土)

◆防犯活動

12月6日(金)午後5時

防犯啓発防犯パトロールの実施

◆防犯パトロール推進及び防犯看板の設置・保守

※随時

◇環境美化活動

道路清掃ボランティア活動推進

◇参道清掃

国府宮神社参道周辺
令和7年2月12日(水)

福祉部会

部会長 野村茂樹
副部会長 三ツ井芳博

◇一人暮らし高齢者慰問・施設慰問
12月4日(水)

情報広報部会

部会長 小崎俊平
副部会長 岩井眞由美

◇ふれあいのまち発行

地域の情報・話題などの紹介。
8月(第90号)・3月(第91号)の
年2回発行。

◇研修会

地域の皆さんの身近な情報をお寄せください。

市協力事業

◇ごみゼロ運動いなざわ

春(6月)は実施済み。

秋10月20日(日)

◇各種啓発事業(随時)

他の団体からの協力依頼により啓発活動を実施。

役員退任者

お疲れ様でした

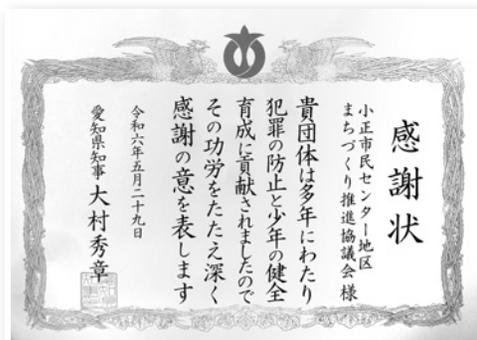
会長 石黒進
副会長 魚住里美
監事 加藤恒二
山本繁雄
三芳治幸
宮原幸司
永井健治
スポーツ青少年部会長 兼 田智彦

表彰

第50回の全体会議において、長年にわたり本会の事業にご尽力をいただきました左記の方を表彰しました。

副会長 魚住里美様

10年以上、本会に在籍いただき、書記・副会長としてご活躍されました。
これからも本会の活動にご協力をいただきますようお願い致します。



この度、小正市民センター地区まちづくり推進協議会(環境部会)の活動が認められ、愛知県知事より感謝状が授与されました。

ギリシヤでの経験と

国際交流

稲沢中 二年 梅津 莉奈
四月十一日から八日間ギリシヤを訪問しました。

聖火リレーのリハーサルでは採火式を見学し、聖火リレー当日は祖父江中学の子が代表でトーチを持ってその後ろをみんなで走りました。たくさんの人達が応援してくれる中、聖火を繋ぐことができて感動しました。走ったのは短い距離でしたが、記憶に残る貴重な経験となりました。オリンピックの街には様々な国の国旗が掲げられ、その中には日本の国旗もあり、世界とつながりを感じました。

ギリシヤは自然豊かで、海もきれいでした。オリンピックには「ハナズオウ」という日本の「桜」のような花の木が多く見られ、親近感がわきました。また、私たちはギリシヤで多くの人と関わりました。フレンドリーな人が多く、すれ違ったときにはギリシヤ語で挨拶を交わしました。私たちが歓迎してくれた同世代の子どもたちとも仲良くなることができました、一緒にギリシヤ伝統



のダンスを踊ったり、日本の遊びや文化を紹介したりして親睦を深めることができました。

八日間、多くの経験をすることができ、今回の派遣事業は私にとって一生忘れられないものとなりました。お世話になりました皆様、ありがとうございます。



経験を積んで

レベルアップ

治郎丸中 三年 中村 衣麻莉
私は「小正ふれあいフェスタ」に出演し、人前で演奏できる機会はとて少ないので、貴重な経験になりました。

私がとくに印象に残っていることは、二曲目の「J-BEST 23」の2023年J-POPベスト3「ストヒツスペシャルメドレー」を演奏したときです。練習ではリズムがそろわず「本番は吹ききれいな」と不安でした。本番直前まで何度も曲を練

習し、いい演奏ができるように頑張りました。本番では、聴いてくださった方々に楽しんでもらえるよう全力を尽くしました。納得のいく演奏ができたので、とてもよかったです。さらに、一曲目が始まると、手拍子をしてくださった方もいて、その瞬間、「楽しんでもらえてよかった」という気持ちになりました。

心に残った「手拍子」

治郎丸中 二年 影山 なつみ
私は「小正ふれあいフェスタ」で、夏色、「J-BEST 23」の2023年J-POPベスト3「ストヒツスペシャルメドレー」を、ドラムで演奏しました。

練習の時に意識したのは、指揮者を見ることです。リズムやテンポが崩れないように、叩く速度が変わらないようにしました。また、稲沢市民吹奏楽団の方が教えてくださったアドバイスも意識しながら、一生懸命取り組みました。本番当日は、上手く演奏できるか朝から不安で、少し緊張していました。し

かし、幕が上がって演奏し始めるととても楽しかったです。私には、演奏していた中で印象に残ったことがあります。それは、ジャンボリーミッキーのときに、演奏を聴いてくれた方が一緒に手拍子をしてくださいました。私は、それが嬉しくて、一生懸命練習してよかったと思えました。最初から最後まで楽しく演奏ができ、私にとって、素敵な思い出になりました。





うれしかったメロディ

治郎丸中 三年 野村ひかり
バリトンサクソフォーンは、低音パートとサクソフォーンパートに属している楽器です。普段は低音パートとしてリズムを刻み、メロディを支えています。

この「小正ふれあいフェスタ」では、低音パートがメロディを演奏する場面がありました。それは「J・B・E・S・T・2・3」2023年J・P・O・P・ベストヒッツスペシャルメドレー」の中にある「エジソン」という曲で、ハイテンポで楽しい曲です。最初に吹いてみたときは運指が難しく、うまく吹くことができませんでした。しかし、何回も練習し、仲間とアドバイスをし合って、本番に臨むことができました。

本番は、想像を上回るたくさんのお客さんがいて、とても緊張しました。でも、これまで練習してきた力を信じて、上手に吹くことができました。吹き終えたとき、たくさんの温かい拍手をもらったので、頑張った練習して本当によかったと思います。

人々への恩返しを

稲沢東小 六年 服部 史典

私も、昔病気がかかってた時、周りの支えがあつて助かりましたので、その助けようとした人々また助けようと思ふ。必死に薬を作つて少しでも病気を治そうとしてくれた医者などの人々に、恩返しとして幸せが来るようにお願い、私も助けられたので食料などに困つてゐる市区町村に五穀豊穣になるように必死に努めることでした。

そして、市区町村日本だけが食料に困つてゐるはずがないので、日本をこえて外国での食料に困つてゐる国々にも五穀豊穣や、助けてゐる人などに幸せが来るようにお願い、五月六日、国府宮神社馬祭り神代を務めました。



こうのみやじんじやのけんがく

小正小 三年 藤田 和奏

わたしは、三年生でこのみやじんじやのけんがくををしました。

はだかまつりは、七六七年前にはじまつたらしいです。七六七年は、いっしょにはだかになろうかなとおぼえるといいそうです。こうのみやじんじやに行つて、ふだん入れないなおいでんに入れてうれしかったです。中はとてもきれいで、しん男は、はだかまつりの時に「ここで生活してゐるんだな」と思ひました。こうのみやじんじやのことをべんきようできたので、もっとたくさんを知りたいと思ひました。

くやしかった綱引き

小正小 五年 藤田 悠生

ぼくは、五月五日の子ども会をつな引くと、ささのほうのうをしました。

ぼくたちは、つな引きをして大事なことは「協力」ということが大切だということが分かりました。

それをいしきしてやりました。が、けつきよく最下位という結果で終わつてしまいました。

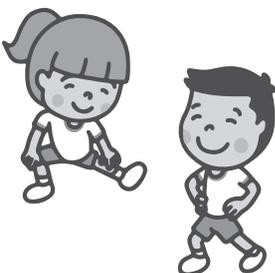
次は六年生ということで最後のつな引きなので、「協力」と

いうことを意識して、最後のつな引きで一位になりたいです。

目指せ！全国制覇！

稲沢東小 六年 山口 寛奈

私が所属するソフトボールチームは、全国大会二季連続出場が決定しました。今まで県大会では、二日目にも行けず先輩方の悔し涙を見ました。そして私たちが決めた目標は「全国制覇」です。家では必ず素振りをし、週末にはみんな目標に向かってたくさん練習をしました。試合に勝つた時にはみんなで喜び合い、負けた時にはたくさん泣いて励まし合い、またたくさん努力をしました。春の全国大会では、中々思うように行かず、一回戦敗退という残念な結果になりました。そして春の県大会で準優勝し、またみんな全国大会に行けるチャンスをつかみました。夏の全国大会では、目標の「全国制覇」に向かって、みんなで全力で楽しくこの大会を終えたいです。



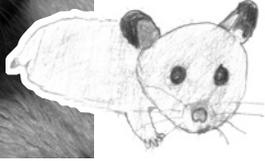
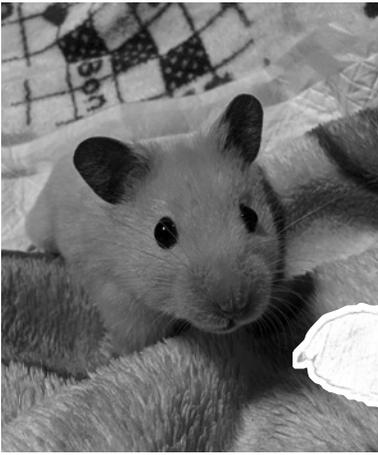
ほくのハムスター

小正小 四年 丹下 詢也

ほくのおうちに、あたらしいかぞくがふえました。それはキンクマハムスターのくまちゃんです。くまちゃんは、ほくがおへやにはいると、おきてローラーであそんだりローラーの上でねたりしてあそんでいます。

くまちゃんが「でたいよー」とゲージをカリカリしているときに、ドアをあけて手をだすと手の上につけてきてくれます。

とってもかわいいです。ハムスターはじゅみょうがあまりながくないので、ながいきしてほしいです。



ホウネンエビという生き物はご存知?

稲沢中 一年 丹下 誠也

皆さん、ホウネンエビをご存知でしょうか?ホウネンエビは、生きた化石と言われている、不思議な形をしたエビです。ホウネンエビの体長は2〜3センチ程度の大ききで泳ぎ方が不思議で逆さまに泳ぐので「不思議だな」と思いますが、ホウネンエビは、田んぼに入ってから3週間程度で突然いなくなるので、採取するのが難しく、この田んぼにはいて、この田んぼにはいないことがあるから難しいのです。ぜひ、田んぼがあったらのぞいて見て、いたら観察して見てください。



うれしい出来事

S.Y

「学校のあおむしがチョウになっただよ!」

理科の授業で最近あおむしの観察をしているらしく、毎日虫かご

我が家のペット



六年 山口 凜佳 勝

編集後記

今年度も新メンバーで情報部会がスタートいたしました。昨年度からは行事も少しずつ再開され活気が戻りつつあります。皆様からの情報をお待ちしております。よろしくお願ひ致します。

【連絡先・原稿提出先】

事務局・小正市民センター

TEL 21-8000

FAX 32-2004

center-kosyo@city.inazawa.aichi.jp

の中で美味しくそうにキャベツをむしゃむしゃ食べるあおむしの姿が、とてもかわいいんだと、家でいつも話していました。最近、さなぎになったので、チョウになつて出てくるのを楽しみにしていたので、無事にチョウになつて、出て来てくれてとても感動した様子でした。

「お花がたくさん咲いている場所で幸せになつてほしいから、皆で虫かごから出してあげる事にしたんだよ。」と、チョウとの別れをおしみながらも、うれしいそうでした。